

# 平成 30 年度活動報告及び収支決算について

## I 平成 30 年度活動報告

### 1 機関誌の発行

機関誌「子ども樹木博士ニュース」を平成 30 年 6 月 1 日 (No. 71)、9 月 1 日 (No. 72)、12 月 1 日 (No. 73) 及び平成 31 年 3 月 1 日 (No. 74) の 4 回発行 (各回 850～900 部) し、会員や実施団体をはじめ、林野庁、森林管理局・署等、都道府県、関係団体等に配布した。

#### (参考)「子ども樹木博士ニュース」(No. 71～74) の掲載概要

##### No. 71

- 巻頭言：プロのインタープリター集団を目指して (加々美 貴代)
- 特集Ⅰ：高尾山の樹木シリーズ (5) (藤田 富二)
- 特集Ⅱ：観察会テンパリ日記 (9) (岩谷 美苗)
- 事例報告：根釧東部森林管理署の子ども樹木博士認定活動 (林 健二)
- シリーズⅠ：樹木名の話 (9) —スギ林内に咲くウリノキ— (埜田 宏)
- シリーズⅡ：東南アジアの木々たち(39) —ベトナムと日本の漆—  
(梅本 浩史)
- 子ども樹木博士質問コーナー (51) (寺嶋 嘉春)
- 事務局だより：子ども樹木は変え認定活動協議会が初めて「みどりとふれ  
あうフェスティバル」に出展

##### No. 72

- 巻頭言：わたしの美しい森 フォトコンテスト (中野 亨)
- 特集Ⅰ：高尾山の樹木シリーズ (6) (藤田 富二)
- 特集Ⅱ：観察会テンパリ日記 (10) (岩谷 美苗)
- 事例報告：樹木博士 in 北九州市立曾根東小学校 (野見山 和子)
- シリーズⅠ：樹木名の話 (10) —ナツハゼはブルーベリーにあらず—

(埜田 宏)

○シリーズⅡ：東南アジアの木々たち(40)—旧ガガイモ科の植物—

(梅本 浩史)

○子ども樹木博士質問コーナー(52)(寺嶋 嘉春)

○事務局だより：平成29年度の子ども樹木博士認定活動の実施状況

### No. 73

○巻頭言：森林環境税に期待する(井上 公基)

○特集Ⅰ：高尾山の樹木シリーズ(7)(藤田 富二)

○特集Ⅱ：観察会テンパリ日記(11)(岩谷 美苗)

○事例報告：川根の森で遊ぼう—子ども樹木博士チャレンジ—(猪股 須恵)

○シリーズⅠ：樹木名の話(11)—サザンカが咲くころ—(埜田 宏)

○シリーズ：東南アジアの木々たち(41)—熱帯に育つ紫式部の仲間—

(梅本 浩史)

○子ども樹木博士質問コーナー(53)(寺嶋 嘉春)

○事務局だより：平成30年度の子ども樹木博士認定活動の実施状況

(平成30年11月12日現在)

### No. 74

○巻頭言：樹木の葉っぱに手で触れてみよう

—五感で遊ぶ子ども樹木博士を—(木平 勇吉)

○特集Ⅰ：高尾山の樹木シリーズ(8)(藤田 富二)

○特集Ⅱ：観察会テンパリ日記(12)(岩谷 美苗)

○事例報告：駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センターの樹木博士認定会

(福浦 清和)

○シリーズⅠ：樹木名の話(12)—杉はスギかコウヨウザンか—(埜田 宏)

○シリーズ：東南アジアの木々たち(42)—春節(旧正月)を祝う黄花—

(梅本 浩史)

○子ども樹木博士質問コーナー(54)(寺嶋 嘉春)

○事務局だより：平成31年度森林インストラクター「資格試験」・「養成講習」の日程のお知らせ

## 2 認定活動等の実施状況

### (1) 認定活動の推進

平成 30 年度の認定活動について、実施団体から事務局に報告等されたものは、実施回数で延べ 35 回、参加人数で延べ約 8 百人（前年度は 35 回、約 11 百人）となっている。

また、地域ごとには、16 都道府県で、27 団体による実施（前年度は 14 都道府県、28 団体による実施）となっている。

### (2) 認定証の配布等

要望を受けて、「認定証」、認定活動の「進め方」、その他の資料等を配布した。このうち、認定証の配布数は、876 枚（前年度 790 枚）となっている。

（注）認定証には A5 サイズと名刺サイズの 2 種類のものがあり、これらを併せてセットで要望されるケースもある。

### (3) 「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の普及

「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の普及に努めた。配布数は 195 冊（前年度 90 冊）となっている。

### (4) 交流会の開催

平成 30 年 5 月 12 日及び 13 日、東京都日比谷公園において実施された「みどりとふれあうフェスティバル」に出展し、（一社）日本森林インストラクター協会の協力により、来場者を対象とした子ども樹木博士認定活動を実施した。森林インストラクター及び環境教育に取り組む大学生も説明者として参加した。

### (5) インストラクターの紹介等

実施団体からの要請に応じ、（一社）日本森林インストラクター協会等と連携を図り、森林インストラクター等を紹介した。

また、平成 30 年度の認定活動の実施について報告等のあった実施団体を含め、実施団体の一覧表を整理した。

その結果として、平成 12～30 年度に認定活動を実施したことのある団体

は 44 都道府県で 331 団体（前年度は 44 都道府県で 326 団体）となっている。

(6) その他の活動等

資料請求のあった者に対し、冊子「認定活動の進め方」、パンフレット「子ども樹木博士のすすめ」などを配布した。

「小学生のミカタ『楽しくて役に立つ！小学生のための資格・検定ガイド』（仮）」（小学館：2019 年秋～冬出版予定）及び「理科教育ニュース付録教員向け冊子」（少年写真新聞社）の取材に協力した。

協議会等のホームページの更新等を逐次行った。

【当協議会の URL は [http://www.shinrinreku.jp/kodomo\\_nintei/index.php](http://www.shinrinreku.jp/kodomo_nintei/index.php)】

【子ども樹木博士の URL は <http://www.shinrinreku.jp/kodomo-n/main.html>】

### 3 会員の状況

(1) 入会 個人会員 1 人

(2) 退会

退会の申出 個人会員 1 人

団体会員 0 団体

退会の処理 個人会員 0 人

(注) 退会の処理：原則として 3 年間会費が未納の会員

(3) 平成 31 年 3 月末

団体会員 20 団体（前年度：20 団体）

個人会員 66 人（前年度：66 人）

## Ⅱ 平成 30 年度収支決算報告書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	差 引	備 考
(収入の部)				
1 会費収入	332,000	296,000	-36,000	
団体会員	200,000	190,000	-10,000	
個人会員	132,000	106,000	-26,000	
2 助成金収入	900,000	900,000	0	未収金
3 雑収入	130,005	127,748	-2,257	
認定証代金	30,000	20,725	-9,275	
樹木ガイド代金	100,000	105,023	5,023	
受取利息	5	0	-5	
その他収入	0	2,000	2,000	
当期収入合計 (A)	1,362,005	1,323,748	-38,257	
前期繰越収支差額	2,031,846	2,031,846	0	
収入合計 (B)	3,393,851	3,355,594	-38,257	
(支出の部)				
1 会議費	80,000	24,444	-55,556	
総会費	60,000	24,444	-35,556	
その他の会議費	20,000	0	-20,000	
2 事業費	1,400,000	449,480	-950,520	
機関誌発行費	300,000	237,480	-62,520	
教材等作成費	800,000	0	-800,000	
推進活動費	300,000	212,000	-88,000	
3 事務費	1,050,000	1,070,032	20,032	
事務補助費	630,000	630,000	0	未払金
連絡通信費	100,000	147,592	47,592	
事務用品・コピー 雑費	300,000	286,980	-13,020	未払金
雑費	20,000	5,460	-14,540	
4 予備費	300,000	0	-300,000	
当期支出合計 (C)	2,830,000	1,543,956	-1,286,044	
当期収支差額 (A-C)	-1,467,995	-220,208	1,247,787	
次期繰越収支差額 (B-C)	563,851	1,811,638	1,247,787	